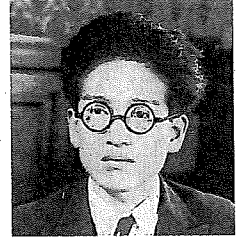


伊藤整没後50年 創作の原点紹介

小樽文学館 直筆原稿も



1927年ごろの
伊藤整

小樽ゆかりの文学者、伊藤整(1905-69)の没後50年にちなんだ特別展「伊藤整と北海道」が5日、市立小樽文学館で始まった。幼少期から中学校教員時代を経て戦中の疎開時代まで、思索や創作の原点

となった北海道時代を約200点の資料で紹介する。伊藤整は炭焼沢村(現・松前町白神)に生まれ、1

歳の時にいまの小樽市塩谷に移り住んだ。小樽高等商業学校(現・小樽商科大)を卒業して小樽市中学校の英語教員時代に詩集「雪明の路」を出版。1928年に上京し、海外文学の翻訳や評論、小説など様々な分野で業績を残した。

小さな文字で推敲しながらしたためた処女作「雪明の路」の直筆原稿41枚や、青年期までを過ごした塩谷の家の手書き図、56年に故郷の塩谷を訪ねた時に撮影した未公開のモノクロ写真などを展示する。23年に小樽高商外語劇大会で上級生の作家、小林多喜二と一緒に写る舞台写真も興味深い。11月24日まで。一般300円、高校生150円、中学生以下は無料。

(佐久間泰雄)

13国公立 北大は21年度以降

道大と公立はこたて未来大。北大は、20年度に活用方法を検討した上で、21年度以降は導入する考えだ。はこたて未来大は、民間の英語試験が複数あること

北大募集2409人 一般入試要項

北海道大は4日、2020年度的一般入試の募集要項を公表した。募集定員は、一般入試が前年度比7人減の2409人。うち前期日程は、総合入試が1112人、学部別入試は805人で、後期日程は学部別入試のみ行われ、492人となる。

出願期間は前期、後期とも20年1月27日～2月5日(必着)。前期の試験日は2月25日、医学部医学科は26日に面接が行われる。後期試験は3月12日。合格発表は、前期が3月7日午前9時、後期は20日午前9時の予定だ。

「民間英語活用」11大学

20年度入学共通テスト

2020年度から大学入学共通テストで活用される英語の民間検定試験について、道内は13の国公立大のうち、今年度に公立化された千歳科学技術大など11大学が20年度入試に導入する予定だ。

- ◆英語民間試験を導入予定の大学
- 【国立】北海道教育大、室蘭工業大、小樽商科大、帯広畜産大、旭川医科大、北見工業大
- 【公立】釧路公立大、公立千歳科学技術大、札幌医科大、札幌市立大、名寄市立大
- 【私立】札幌大、札幌大谷大、星槎道都大、苫小牧駒沢大、日本赤十字北海道看護大、函館大、北星学園大、北海学園大、北海商科大、北海道科学大、北海道情報大、稚内北星学園大
- 【私立短大】帯広大谷短大、札幌大谷大短期大学部、北星学園大短期大学部

導入を見送るのは、北海

を見送りの理由に挙げる。そのため受験料が違ったり、受験場所が限られたりして、公平性が確保されていない点を指摘する。21年度入試については、「これらの問題が解決されたのを見極めてから導入するかどうか検討したい」(大学事務局長教務課)としている。

英語民間試験 道内は26大学

文科省集計 全国四年制大学63%

2020年度開始の大学入学共通テストに導入される英語民間検定試験について、文部科学省は4日、全国の四年制大学の63・6%に当たる483校が初年度に少なくとも一つの学部や選抜区分で利用を予定していると発表した。道内は40校中26校で、65・0%。15年度の文科省調査では独自に入試で民間試験を利用していたのは国公私立大の36・3%でこれを上回るが、導入を巡る混乱は続いており、大学側からも批判が出ている。

（鈴木誠）

「日程ありき」批判も

調査は9月30日時点で集計した。短大を含めた民間試験の利用予定は全国が52・5%。道内は短大3校を含めると29校で、52・7%になる。文科省は大学が利用の有無を判断する最終期限を今年11日としており、今後利用する大学が増える可能性はある。

北海道新聞が道内の各大学と短大に民間試験の利用方法を調査したところ、最も多かったのは「加点」で8校＝表＝。次いで、一定のレベルの成績を出願時に求める「出願要件」と、民間試験と大学の独自試験の結果を比べて良い方を使う「独自試験に換算」はそれぞれ

それぞれ5校だった。

一方、4校は具体的な利用方法を検討中とした。うち北星学園大はホームページで民間試験の結果を利用して加点するとしていたが、試験を巡る混乱を受け再検討しているという。文科省は先月27日に急ぎ

よ、9月中に利用方針を公表しない大学に、民間試験の成績提供システムを利用できなくすると通知するなど、場当たりの対応が続く。道内のある大学の入試担当者は「今出ている疑問や問題は事前に想像ができていたからいい。日程ありきでやるからこうなった」と批判する。

これに対し、萩生田光一文科相は4日の閣議後の会見で、「多くの受験生はシステムの実施を念頭に準備を進めている。当初の予定通り20年度から導入する」と実施を明言した。

出願要件	帯広畜産大、旭川医科大、札幌医科大、札幌市立大、日本赤十字北海道看護大
加点	北海道教育大、室蘭工業大、小樽商科大、北見工業大、公立千歳科学技術大、名寄市立大、札幌大、星槎道都大
出願要件と加点	東京理科大
独自試験に換算	北海学園大、北海道科学大、函館大、北海道情報大、東京農業大
一定の成績で満点にする	稚内北星学園大、苫小牧駒沢大
選択科目で活用	札幌大谷短大
独自試験の代わりに活用	帯広大谷短大
その他	釧路公立大、札幌大谷大
内容を検討中	北海商科大、北星学園大、東海大、北星学園短大

英語民間試験を利用予定の道内大学・短大と一般選抜での利用方法 ※部の学部や選抜方法のみの場合を含む